

景気変動と経済政策

名前 _____

_____ 月 _____ 日

現代社会

憲法

政治

経済

国際社会

これから

今日の問い

景気はなぜ変動し、政府や日本銀行はどんな対策をとるのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 景気変動

好況・不況

① 経済全体の活発さ。好況と不況がくり返される。

② 物価が継続して上がり続けること。

③ 物価が継続して下がり続けること。

経済は、いつも同じ調子で動くわけではない。商品がよく売れて生産が増え、働く人の賃金も上がる好景気(好況)になると、やがて売れ行きがにぶり、生産が減って失業者が増える不景気(不況)になる。このように ¹ **景気** が良くなったり悪くなったりすることを景気変動(景気循環)という。

景気と深く関わるのが物価である。物価が継続して上がり続けることを ² **インフレーション** (インフレ)といい、同じお金で買える物が減る。逆に、物価が継続して下がり続けることを ³ **デフレーション** (デフレ)という。デフレでは企業の利益が減って賃金も下がりやすく、不景気とともに起こる悪循環におちいることもある。景気の波は、新しい技術の登場や海外の経済のようすなど、さまざまな原因で生まれる。

状態	物価	賃金・雇用
好景気	上がりやすい	賃金・雇用が増える
不景気	下がりやすい	賃金・雇用が減る

2 政策と為替

金融政策・円高

⑥ 日本銀行がお金の量を調節して景気に働きかける政策。

⑦ 政府が税や公共事業で景気に働きかける政策。

⑧ 円と外国のお金を交換する比率。

日本銀行は、おもに ⁴ **国債** を売買する ⁵ **公開市場操作** で、銀行のもつ資金の量を調節する。不景気のときは国債を買う。すると銀行の資金が増えて金利が下がり、企業が借りやすくなる。お金が出まわれば、生産や投資が活発になりやすい。好景気のときは、その逆を行う。これが ⁶ **金融政策** である。一方、政府の ⁷ **財政政策** では、不景気のとき公共事業を増やし、減税を行って、需要を増やす。好景気のときはその逆を行う。

円と外国のお金を交換する比率を ⁸ **為替相場** (為替レート)という。1ドル=100円から80円になるのは、円の価値が上がる ⁹ **円高** で、輸出企業に不利に、海外旅行や輸入には有利に働く。1ドル=100円から120円になるのは円安で、輸出企業に有利になる。

できた /9